

広報

ふだい

「おねがいごとが
かないますよろこび」

(はまゆり子ども園の七夕集会で)

今月の内容

地方創生	2~10	みんなのひろば、地域おこし協力隊通信	16~19
村長就任あいさつ、議長に中村氏副議長に熊谷氏	11~13	くらしの情報、カレンダー	20~23
2校合同の宿泊学習、スポーツ情報ほか村の話題	14~15	避難勧告発令時などの住民の取るべき行動	24

地方創生始まりの背景

昨年5月、民間有識者で構成する「日本創成会議」（座長・増田寛也元総務大臣）が発表したひとつのデータが全国の自治体を震撼させた。それは2040年時点の人口を、全国にある約1800市区町村別にまとめた「将来推計人口」だ。データによると896市区町村が「消滅する恐れがある」とのこと。

日本創成会議がデータを発表した同年9月、国は「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、同年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定。「地方創生」で打って出た。

地方創生とは地方を元気にするための施策で、自分たちで何が必要なのかを考え企画し、それに対し、国が必要な支援をしてくれるというシステムだ。したがって「地方創生は国の政策のひとつだから、自分たちには関係ない」とは言えない。

残念なことに普代村も消滅する恐れがある。「消滅可能性都市」に分類された。若年女性（20～39歳）が半数以下に減ってしまうからだ。同会議は、出産の90%以上を占める若年女性が減少を続けると、人口の再生産力が低下し、人口減少に歯止めがかからないと考えている。

進む人口減少。その現状を振り返り、それに対する村のこれまで、これからの地方創生、まち・ひと・しごと、それぞれで創生を目指す人たちの思いを聞いた。

小学生33人、中学生17人

まずは人口の現状を振り返る。普代村の将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所調べ）は図1のとおり。2010年に3088人いた人口が、2060年には半数以下の1050人になると予想される。そして2060年の年齢別の内訳が図2だ。この年齢別の人口が普段の生活などにどのような影響を及ぼすのだろうか。

村内に1校ずつある普代小・中学校。将来は普代小の全校児童数が約33人、普代中の全校生徒数が約17人になると予想される。普代中では現在、生徒数の減少で、休部している部活動もある。現在は全校64人で5つの部活動があるが約50年後にはいくつかの部活動が残っているのだろうか。

村の基幹産業の水産業。現在定置網は9カ統操業しているが、2060年には人口減少の影響でいくつかの定置網が操業しているのだろうか。

行政サービスの維持にも懸念の声が上がる。現在、普代村役場の職員数は61人だが約50年後には半数以下に減少することが予想される。

進む自然減と社会減

次に自然・社会増減による人口の増減を探ってみた。

図3自然増減（出生や死亡による増減）の推移は出生数が死亡数を下回ったことから2000年以降減少を続けている。未婚化・晩婚化が進んだ影響による出生率の低下が原因の一つに考えられる。

図1 普代村将来推計人口
(国立社会保障・人口問題研究所調べ)

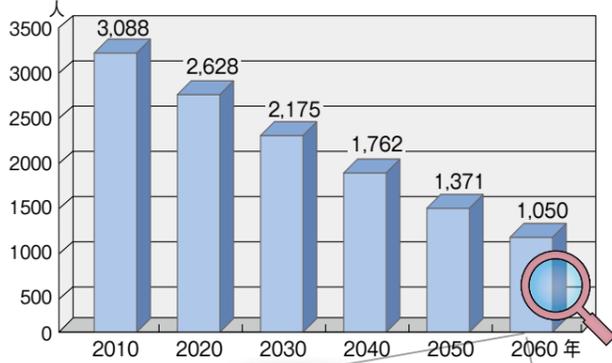
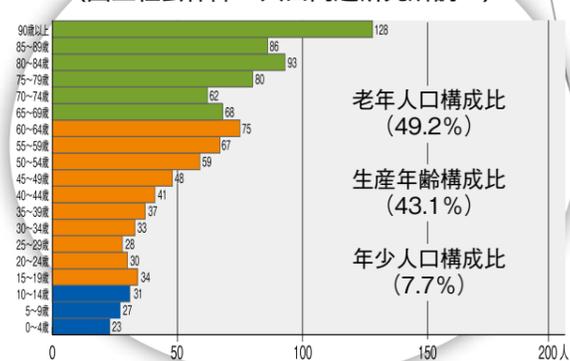


図2 2060年の普代村年齢別の人口
(国立社会保障・人口問題研究所調べ)

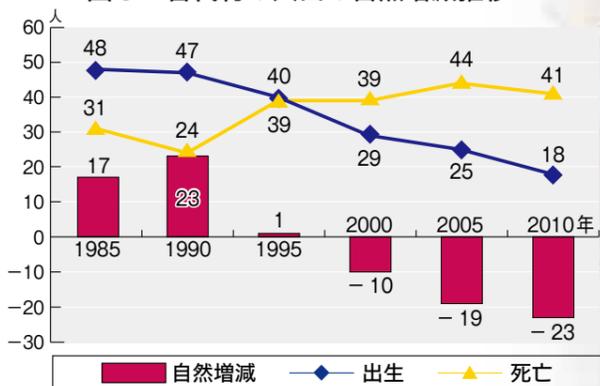


次に図4社会増減（転入や転出による増減）だ。これは集計開始以来、下降の一途をたどっている。しかしながら自然増減と比べて波があるようだ。自然増減と比べて波があるようだ。調べるに岩手県の有効求人倍率が全国を上回った時、村の社会増減が落ち着く傾向にある。仕事が人口の増減に影響していると考えられる。

図4 普代村の人口の社会増減推移



図3 普代村の人口の自然増減推移



始めよう 地方創生!

ふだいまつりで国道で舞う普代中学校神楽同好会のメンバー。将来同好会は、ふだいまつりは残っているのだろうか。(平成26年9月5日)

これまでの

地方創生

取り組み①

人口減少対策PTの設置

村は日本創成会議が発表したデータに対し、「人口を増加させるのではな



人口減少対策PTの第1回調査研究会（平成26年7月4日）

く、人口減少を抑制しよう」と昨年7月に人口減少対策プロジェクトチームを設置、始動した。データが発表されてから2カ月たたないでの結成だ。

10月からは特定課題懇談会を開催し、同プロジェクトチームが15地区を回った。それぞれの地区では人口減少を懸念する声や人口減少が進む原因、提言、要望などさまざまな声が聞こえた。

村ではそこで出た貴重な意見を全村的に共有しようと全戸に配布した。ある村民は「配布された意見などを

村はこれまで人口減少対策PTの設置や緊急支援交付金の活用などで地方創生を推進してきた。その取り組み内容や状況をお知らせする。

見たが、どの地区でも思うことは一緒なんだね」と話してくれた。

村地域創生室の中村係長は「特定課題懇談会は今後の取り組みにつながっていくものだと思います。そこで出た提言などを今後の政策にどうつなげていくかが大きな課題です。成果としては提言などを聞いたこともですが、住民の皆さんと『人口減少問題』という意識共有をできたことが大きな収穫です」と手応えを感じた様子だ。

前のページで説明した自然減と社会減を抑えれば人口減少を抑制することは可



鳥居地区での特定課題懇談会。さまざまな声が飛び交った

能だ。だが住環境の整備や住民サービスの向上、安定した雇用の場の提供などをしていかなければ一時的に人口減少を抑制することは出来ても、人口維持は望めない。

それぞれのライフステージ（就業、結婚、子育てなど）に応じた施策が求められることから、地方創生はまち・ひと・しごとの一体的な推進が基本とされている。

取り組み②

緊急支援交付金の活用

国は26年度中に地方創生の緊急的な取り組みとして地方の消費を促すため「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を地方に配分した。その交付金は「地域消費喚起・生活支援型」と「地方創生先行型」に分けられる。

地域消費喚起・生活支援型は地域の消費喚起や生活支援のための交付金で、その名のとおり地域経済の発展のため、地域の消費を喚起する事業に充てられる。地方創生先行型はまち・ひと・しごと創生のため、それぞれ地域の実情に応じた取り組みを支援する事業に充てられる。

村では地域消費喚起・生活支援型を3事業902万8千円、地方創生先行型を8事業2584万4千円、計11事業3487万2千円を次の表のとおり計画、実施している。

園の給食費を還元

地方創生先行型の「はまゆり子ども園給食費支援事業」と「ふだいの産業魅力アップ事業」について担当者から詳しく話を聞いた。

「はまゆり子ども園給食費支援事業」は子ども園利用者の給食費負担額を地域商品券で還元し、永続的に安心して子育てができるように努め、出生率の増加を目指すというもので年に2回還元する予定だ。子ども1人当たり最大で4000円の給食費がかかるので、6カ月で2万4000円分の商品券を支給する計算になる。

15万円近くかかるので還元はうれしいです。地域の消費喚起にもつながります」と話していた。



子ども園の給食費は年2回地域商品券で還元する予定だ

「ふだいの産業魅力アップ事業」は生産者や事業者などが連携して商品開発や販路開拓などの取り組みで地域資源の付加価値向上を目指すというものだ。この事業で村昆布大使の小野寺恵さんが特産のこんぶ饅頭を使ったメニューを開発した。国民宿舎くるさき荘ではランチ営業で、同商品をメニューに取り入れている。そのほか、今年度は4事業者が地域資源を活用した商品開発に取り組む予定だ。

地域消費喚起・生活支援型 902万8千円

事業名	内容
福祉灯油購入助成事業 (122万8千円)	高齢者世帯など対象者へ灯油券を支給
子育て支援商品券支給事業 (380万円)	村共通商品券を中学生までを対象に支給
プレミアム付き商品券事業 (400万円)	村共通商品券6000円分を5000円で販売

地方創生先行型 2,584万4千円

事業名	内容
普代村総合戦略策定事業 (640万4千円)	総合戦略策定のための経費
地域資源発掘周遊観光バス運行事業 (197万円)	日・祝日に観光のための周遊バスを無料運行
「青の国ふだい」ファン会員登録制度事業 (285万8千円)	村外の普代ファン確保
おためしU愛Jターン支援事業 (554万3千円)	追手門学院との連携による居住・定住促進
ふだいの産業魅力アップ事業 (332万9千円)	地域資源の付加価値向上による産業の活性化
普代村新卒者等雇用促進奨励金事業 (180万円)	新卒者を雇用した村内事業者に奨励金を支給
普代村新規漁業者支援協議会補助金事業 (10万円)	新規漁業者への支援による後継者対策
はまゆり子ども園給食費支援事業 (384万円)	給食費負担額を地域商品券で還元

これからの 地方創生



第1回となる「まち・ひと・しごと創生推進会議」。10月ごろの総合戦略策定を目指し動き出した

動き出した創生推進会議

国が制定した「まち・ひと・しごと創生法」。その中には「各市町村でも地域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に努めなければならない」と記されている。これを受け、村では今年6月に村内外の有識者からなる「まち・ひと・しごと創生推進会議」を設置した。今年10月ごろの総合戦略策定を目指して同会議で盛り込む内容を検討する。

総合戦略策定までの大まかな流れは

村ではこれからの地方創生として「普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を今年10月を目途に策定し、村が進める地方創生の基本方針を示す。

①「地域創生研究会（村の若手職員で構成）」が「地域創生・人口減少対策本部（村の幹部職員で構成）」に素案を提示②本部はその素案に修正を加え、推進会議に提案し、それに対して同会議で意見を加え、本部に意見③そのやりとりを何度か行い、その間、議事に作業状況の報告などをするほか住民からの意見を取り入れ、総合戦略の案を作成④案を同会議に諮問し、その答申を受け、総合戦略が策定となる。

総合戦略の決定権は対策本部にあるのだが、それまでの過程では推進会議が

重要な役割を担う。推進会議は本部の諮問機関となるのだ。

第1回となる推進会議は6月25日に開催され、住民の代表や産業界、教育、金融機関などから22人が参加し、事務局から国の動向や村の現状などの報告、研究会と本部で練られた素案の説明がされた。

一般公募で推進会議委員に委嘱された上区の下道茂子さんは「普代をどうにかしようという熱い思いで参加しました。総合戦略策定に向け、微力ながら頑張ります」と意気込んでいた。

各委員の任期は平成29年3月31日まで。策定後も総合戦略の進行状況の確認や事業評価などが行われる。



榎屋村長から委嘱状を受ける下道さん(右)

推進会議前段の研究会

創生推進会議の前段となる第1回地域創生研究会は6月11日に行われ、19人の若手職員と村地域づくりアドバイザーで「三陸鉄道を勝手に応援する会」の草野悟代表が参加した。

「雇用・労働」「移住・定住」「結婚・子育て」「多世代交流・防災・地域福祉」の4つの分野に分けて、基本的方向、それに対する問題点や課題、対応や解決方法が話し合われた。これが総合戦略の骨格となる。



「結婚・子育て」の分野について話し合う職員たち

向上など、基本的な方向案が出された。交流の場や住み続けたいような環境、子育てしやすい環境づくりが必要だ。

「結婚・子育て」の分野では出会う場の創出が重要と意見がまとまった。しかしそのような場を作っても参加者が見込めないという問題点もあげられた。参加したくなるような内容や宣伝などが求められる。

「雇用・労働」の分野では新しい雇用の場の創出が就業による都市部への人口流出を防ぐのではという意見

「多世代交流・防災・地域福祉」の分野では「情報化社会への対応」が必要とまとめられた。一見、若者向けの施策に見えるが、20年後、30年後は今

が出た。問題点として「就業場所はどうするか」「どんな職種が望まれるか」などという意見が

げられたが、これには「廃校舎の活用」「アンケートの実施」などの

代に合った地域の構築が必要だ。

の対応策が話し合われた。

点、その解決方法は見えてきた。あとは

次に「移住・定住」の分野だ。

決断するだけだ。地方創生には思い切った決断と実行が必要なのかもしれない。

住環境の充実や住民サービスの

た決断と実行が必要なのかもしれない。



村地域創生室
道下 勝弘 室長

真に活力ある村づくりを

地方創生は人口減少の克服や持続可能な地域づくりのため、独自の政策を推進することですが、村民一人一人が「普代に住んでよかった」「これからも普代に住み続けたい」と思える「真の活力」と「誇り」なくして地方創生はありえません。

真の活力づくりには、村民一人一人の希望の実現が必要です。社人研の将来推計人口では今後、人口減少が加速度的に進行すると予想されていますが、地域は絶対にはなくなりません。これからの村を担う子どもたちのためにも、そして今を生きる私たちのためにも、普代の「魅力」「素晴らしさ」を再認識、そして実感し、その誇りを未来へ伝えていきましょう。



地域おこし協力隊 おにつか 鬼東 拓哉さん

東 京で10年近く生活してみて、東京は周りを気にせずのびのびと自由に過ごしているという印象、普代は住民同士の距離が近く、近所付き合いなどが濃いという印象を受けています。都市部、地方それぞれ良い所があり、対した違いはないので、普代を創生するには地元の人が自分たちの地域に自信や誇りを持つことが大事だと思います。そのきっかけを作るのが自分たち「協力隊」の仕事です。外からの目で村の魅力を探し、発信していますが、地元の人が主役でなければ意味がありません。先頭に立ちながらもサポート的な役割もするので一緒にやって楽しみましょう。

はまゆり子ども園保育士 そぶえ 工藤 尊生栄さん

— 児の母として、医療費無料など費用面での村の子育て支援は手厚いと思いますし、近所付き合いが濃く、子どもを地域で育てるという環境と自然豊かな環境があっていいと思います。都会みたいで危ない人や事件はないですね。クマは怖いですが…(笑) 子育てをするとき「有用な人材を育成するんだ」などと難しくは考えていません。ただ良い事、悪い事をしっかりと分かる子どもを育てたいと思っています。人ごとのように聞こえるかもしれませんが、そんな子どもたちがこれから豊かな村を作っていくんだと思うと今から楽しみです。



まち・ひと・しごと 創生へ

まち・ひと・しごとの創生は①まち…国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成②ひと…地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保③しごと…地域における魅力ある多様な就業の機会の創出——を一体的に推進することが基本とされている。それぞれの創生は村での取り組みのほか、村民一人一人の意識や取り組みが大きな力になる。まち・ひと・しごと、それぞれで創生を目指す6人を取材した。



カネシメ水産営業担当 金子 太一さん

自 分の仕事で村の創生を考えた時、一番初めに思い付いたことが太田名部魚市場の「競合競争率」を高めるということです。競争率を高めると漁師の皆さんの収入の増につながり「漁師をしたい」という人が増え、漁村である村の雇用創出にもつながると信じています。地方創生には「自分たちの武器と弱点」をしっかりと見極めることが大事だと思います。まずは自社を見極め、最近習得した活魚の「神経メ」などで商品の高付加価値化を図っていき、収入の増、雇用の創出につなげ、会社の創生をしていきます。

上神田精肉店代表 上神田 敬二さん

漁 師村普代への貢献方法を模索する中で「普代から全国に名物と言える看板商品を開発したい」と思い、普代の特産品を活用した焼き肉のたれなどを開発しています。地域の特徴を生かし、磨けば、普代にしかない「高付加価値商品」が誕生し、村の魅力アップに、さらにその商品の消費拡大が成功すれば、村内の雇用創出にもつながります。「最大のピンチは最高のチャンス」と捉え、東日本大震災後、あの絶望的な状況の中で共有してきた危機感をもって一致団結すれば地方創生は可能だと信じ、今後も「地域と共に」を実践していく覚悟です。



商工会青年部長 三田地 勇治さん

商 店街の活性化と地方創生は似たような取り組みだと思います。小さい意識の変化などで商店街を活性化させ、地方創生につなげたいです。「商店街を活性化させるんだ」「地方創生をするんだ」と難しくならないことが大事だと思います。それと我々の年代がもっとはしゃいで、楽しく、元気で魅力あふれる村を見せることが出来れば、村外に仕事などで出た若者のUターンの増加、新卒者の就職などによる、首都圏への人口の流出を抑えることが出来ると思います。人口減少に対する危機感などがない訳ではないですが、焦らずに冷静でいたいです。

株式会社越戸商店 越戸 秀子さん

昔 と比べると子どもの声が減ったとは思いますが、一方で若い後継者が増えたことで商店街は前以上に活気づいてきました。その若者たちが普代をどうにかしようと頑張る姿をみて、「普代も捨てたもんじゃない」と思います。自社でも震災後から新商品の開発や海産物のPR、販路開拓に取り組み村外にも普代のよさをどんどん発信しています。普代は小さい村ですが村内だけでさまざまなことが事足りる素晴らしい村です。自分自身が楽しみながら、若者の村おこしに協力して行きたいと思っています。



柎屋氏が無投票で村長再選

村議は現職7人、新人3人が無投票で当選



初議会終了後、3役と新議員、議会事務局員が正面玄関で記念撮影

任期満了に伴う村長・村議会議員選挙は、6月16日に告示され、同日午後5時で立候補の届け出受け付けが締め切られました。

村長選には現職の柎屋伸夫氏1人だけが立候補。無投票当選で、普代村政のかじ取り2期目が決定しました。

村議は定員10人に対し10人が立候補。こちらも無投票での当選が決まりました。村議選の無投票は初めてです。10人の内訳は現職7人、新人3人。全て男性で、党派別は全員が無所属です。

本村では柎屋村長の就任のあいさつを、12、13日では改選後の初議会で決まった議会構成、新しい議員の紹介をします。

地方創生が地方を、村を作るといふ政策である以上「国に任せておけば…」では済まないのではないのでしょうか。

ではどう取り組みればいいのか。正直、確かな答えは分かりませんが「より良い村を作る」「次世代に残す」という意地と堅い決意で仕事、生活をしていけば全てのこと、地方創生につながるののではないのでしょうか。結果うんぬん、まずは地方創生を、村づくりを意識することから始めて見ませんか？

普代村、大きい話をすれば日本の住んでいる全ての人が、地方創生の有識者です。まずは考えましょう。行政や個々の組織だけで



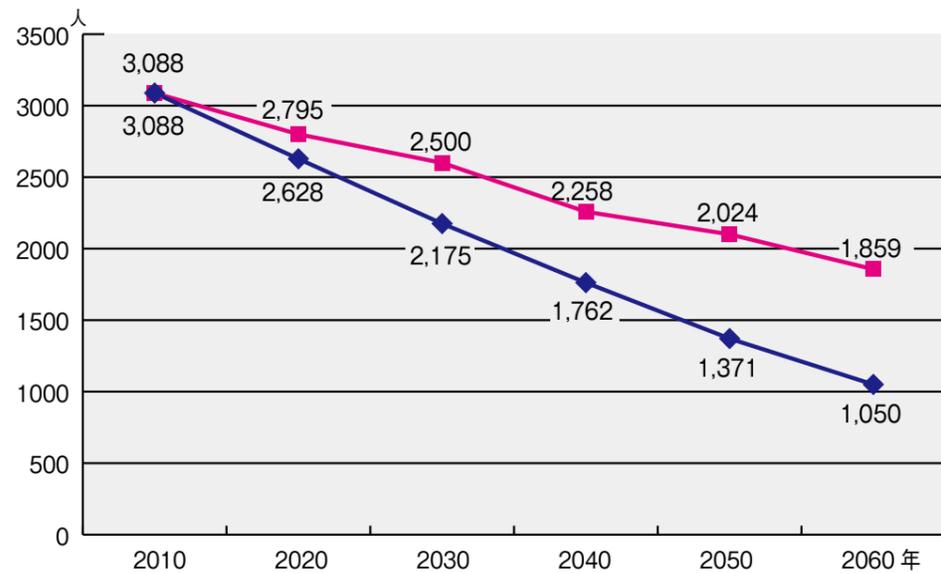
子どもたちに希望ある未来を残して行きましょう

なく村民一人一人が力を合わせる事が大切です。

最後に社会増減のゼロを実現し、出生率を向上すると村独自の推計では下の図の赤線のような将来推計になります。子どもたちに希望ある未来を残して行きましょう。

始めよう！地方創生

普代村将来推計人口



■ 村独自推計 (出生率向上、社会増減ゼロの場合)
◆ 社人研推計

6月21日に執行されました普代村長選挙で、村民の皆さまの温かいご支援を賜り、引き続き村長に就任させていただきました。村民一人一人の幸福実現と普代村の持続的発展へのかじ取り役を担わせていただくことに対して、改めて責任の大きさを感じており、全身全霊を傾注し2期目の村政運営に取り組む覚悟でございます。

震災からの4年間は「青海(水産業)の復興」への思いを、村民の皆さまと共有し、多くの復興事業や未来への希望につながる諸施策の推進に取り組んでまいりました。

水産業の生産・加工・流通の一体的な再建など復興事業をおおむね順調に進めることができ、村営バスのワンコイン化や高校生までの医療費・園児給食の無料化、多機能ホーム利用料の助成など住民サービスの向上を図ることができました。

さらには堀内住宅団地や消防分署の建設、子ども園の園庭や駅前広場の再整備、生活道

●就任のあいさつ



笑顔と活力に満ち、安全安心で真に豊かな村を目指します

普代村長 柎屋伸夫

まだまだ多くの課題が山積みしております。復興事業により元に戻した生産力、地域の活力などを一層に拡大させていく完全復興を、一日も早く達成

路の改修など、必要な建設事業も実施しながら、財政の健全化を進めることができました。しかしながら、本村には、ま

成しなければなりません。また、その真の復興とも直結する地方創生に、広域や産学官など連携の深化、村のあらゆる資源を、磨き、生かし、発信する取り組みを強化しながら着実な成果を積み上げ、より魅力あるふるさとを創造しなければなりません。

そのために、観光・交流の拡大と街中のにぎわい再生にも資するよう、普代浜をよみがえらせ、地域づくりの担い手の確保・育成などを加速化することが求められます。

また誇れる教育を躍進させる小中一貫校やコミュニティを守る公民館の整備、特産品や観光の商品化で外貨を稼ぐ会社などの設立、子育て支援などの日本一に向けた取り組み、若年層の定住につながる雇用や所得向上対策などを「まち・ひと・しごと創生」への取り組みの一環として強く進めようという決意を新たにしております。

どうか、村民の皆さまには、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新議長に中村裕氏

副議長には熊谷有耕氏



当選した10人が出席し行われた初議会（6月26日、役場3階議会議場）

新しい議会構成を決める村議会第4回臨時会は6月26日、役場3階の議会議場で開かれ、改選後の初議会を行いました。議長に中村裕氏（66歳、緑区）、副議長に熊谷有耕氏（63歳、芦渡）を選出しました。



就任のあいさつをする中村議長

議長選挙は議員による単記無記名投票で行われ、中村裕議員が5票、大上浩史議員が5票となり、くじ引きで議長の選出が行われ、くじの結果、

中村議員が議長に選出されました。中村議長は「議員各位の協力のもと、村政発展に努めてまいります」と就任のあいさつをしました。

副議長選挙も議員による単記無記名投票で行われ、熊谷有耕議員が6票、中上一登議員が4票で熊谷議員が副議長に初選出となりました。

改選後の初議会では議席の決定や各常任委員会委員、監査委員などを選任しました。今後4年間の議会運営をしていく新しい議会構成は次のとおりです。

- ◆総務常任委員会▽委員長：坂下重雄▽副委員長：野場義時▽委員：嵯峨典行 大上浩史 熊谷有耕
- ◆産業経済常任委員会▽委員長：金子泰男▽副委員長：中上一登▽委員：正路正敏 森田幸一
- ◆議会運営委員会▽委員長：森田幸一▽副委員長：嵯峨典行▽委員：中上一登 正路正敏 金子泰男 坂下重雄 大上浩史 野場義時
- ◆議会広報常任委員会▽委員長：中上一登▽副委員長：森田幸一▽委員：嵯峨典行 正路正敏
- ◆監査委員：大上浩史
- ◆久慈広域連合議会議員：大上浩史 野場義時
- ◆岩手県沿岸知的障害児施設組合議会議員：熊谷有耕
- ◆岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員：桎屋伸夫
- ◆岩手北部広域環境組合議会議員：中上一登 金子泰男

○新議員の紹介

村政担う10人の顔ぶれ

氏名の前の数字は議席番号、記事中の数字は①最終学歴②職業③当選回数④抱負の順です。（敬称略）



1 嵯峨 典行
（上区・53歳）

①久慈高②無職③初④村民の皆さまの声に真摯に耳を傾け、小さなことから議員としての仕事を全うしていきたいと思っています。



3 正路 正敏
（鳥居・54歳）

①杜陵高②農林業③初④課題が山積みする中、子どもたちや村の将来のために、議員として是非々々で挑んでいきます。



5 坂下 重雄
（茂市・81歳）

①東京高等電気学校②農業③2④新旧議員ともに切磋琢磨し、安全安心で活気にあふれた村づくりに努めていきます。



6 大上 浩史
（白井・74歳）

①光星学院高②無職③6④村長の村政運営の情熱と一緒に取り組む、村民の皆さんのため頑張ります。



8 森田 幸一
（中央区・57歳）

①久慈高②農業③4④「課題に挑戦」を合言葉に、村政発展のため日々努力していきます。



2 中上 一登
（堀内・57歳）

①国士館大中退②会社役員③3④議会が住民の身近であるべきという信念のもと、これまで同様一議員として努力してまいります。



4 金子 泰男
（黒崎・61歳）

①普代中②漁業③4④郷土の振興発展と震災復興、安心して暮らせる村づくりができるよう、誠心誠意頑張ります。



7 野場 義時
（堀内・65歳）

①久慈農林水産高②無職③初④水産業を柱とした産業の振興、安心できる地域福祉環境を次世代に引き継げるよう誠心誠意努力します。



9 熊谷 有耕
（芦渡・63歳）

①専修大美農工短大②農業③6④村民の皆さまの声を村政に届けて、住みよい村づくりに努力する考えです。



10 中村 裕
（緑区・66歳）

①普代中②林業③6④漁業再生復興や農林商工業の活性化などを目標とし、活力ある村づくりに努力します。

2校合同の宿泊学習 普代で学びを深めた2日間



真剣なまなざしで芯抜きをする児童たち

従業員から教わりながら慣れない手つきで芯抜きをしました。その後、普代小学校の職員の家で普代パイパスへの避難階段を見学。説明を受けるなどして学びを深めました。

岩瀬張小5年の山崎拓君は「あんなに高い水門を超える津波は恐ろしいと思いました。三陸水産では海産物のことをたくさん教えていただき勉強になりました」と1泊2日を振り返っていました。

岩瀬張小と北山形小は来年度の3月で閉校。例年、宿泊学習は青少年の家で行われていましたが「一生の思い出になれば」と岩瀬張小の大道正樹校長が沿岸での宿泊学習を企画。大道校長が副校長時代、普代小に赴任していた縁などが今回の見学先の決定につながりました。

普代小3年が村内の施設を見学 議場の広さなどを確かめる

社会科の授業で学習した内容を実際に見学し、自分たちの暮らしとのつながりを確かめることを目的に、普代小3年生15人が6月15日、村内のいろいろな施設を見学しました。役場を訪れた児童たちは1階から順番に庁舎を回り、各課員から仕事の内容を説明してもらいました。

議長に扮した村の職員が「〇番〇〇議員」と指名すると児童たちは大きな声で返事をしました。その後、議会同様の質疑応答を開始。児童たちは「役場では何人くらい働いているんですか」「役場はいつ作られたんですか」などと質問をし、村の職員が答えると熱心にメモをしていました。



児童たちは大きな声で返事をしました

坂上隼大くんは「役場では総務課や住民福祉課などに分かれて村の仕事をしていると知りました」と学びを深めた様子でした。

みどりの会の視察研修 すき昆布を使った調理を体験



すき昆布を使った炒め煮を協力してこしらえます

矢巾町内の女性農業者で組織する「みどりの会」の視察研修が6月19日、村内で行われました。視察研修には16人が参加。午前中には越戸商店の加工場を訪問し、安心・安全な生産現場

を見学して関心を深めました。午後からは村の特産品「すき昆布」を使った調理を体験。村生活研究グループ指導の下、すき昆布を使った料理を3品作り試食しました。参加者の皆さんは「おいしい」や「家でも作る」などと口をそろえて話していました。

地区団体 慈総 久中

バド団体・剣道女子個人が優勝 3競技5種目が県大会に出場

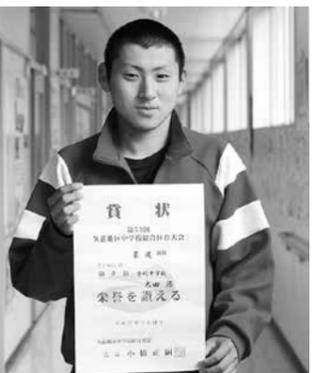
第53回久慈地区中学校総合体育大会が6月13日から15日までの3日間、久慈地区の会場で行われ、参加した普代中学校（佐藤嘉宏校長、生徒64人）の生徒たちは各会場で練習の成果を発揮しました。

男子バドミントン部（太田慎部長、部員16人）は団体、個人ダブルスで優勝。県大会に出場した。

一方、女子ソフトテニス部（佐々木美紅部長、部員14人）は団体戦、個人戦ともに実力を発揮できず県大会出場はなりませんでした。



団体で優勝したバドミントン部。県大会には個人シングルス2位の日向（前列左から3番目）と個人ダブルス1位の山本・及川ペア（前列左から5、後列左から3番目）が出場します



柔道で3位に入賞し県大会出場を決めた太田君



剣道女子個人で優勝した中花さん

県大会は7月18日から20日までバドミントンが奥州市、剣道が北上市、柔道が盛岡市と県内の会場でそれぞれ行われます。

第37回いわての牛乳杯（学童軟式野球大会）の県大会が6月20、21日、27、28日の4日間、岩泉、田野畑、普代の3町村で行われ、県内の予選を勝ち抜いた27チームが参加しました。普代オーシャンズスポーツ少年団も下閉伊北部の第一代表として出場。ベスト16と健闘しました。

同団の古馬丈裕監督（41）は「牛乳杯では実力が発揮されないまま敗れてしまったのでとても悔しい試合でした。もっと出来る子どもたちなので、さらに上を目指して行きます」と次の大会への意気込みを話していました。

第37回いわての牛乳杯 オーシャンズ、ベスト16と健闘



保護者の声援を背に受け伸び伸びとプレーする子どもたち

公園野球場で遠野市の松崎野球スポーツ少年団と熱戦を繰り広げました。早い回で点を許しますが、回を追うごとに相手チームに詰め寄るオーシャンズ。最終的に2点を返しますが、あと一本が出ず、3-4で惜しくも敗退

おとうさん
おかあさん
あのね... 338



りあちゃんとえいとくん
(はまゆり子ども園さくら組)

◆おおたりあちゃん (太田りあ・6歳)
から父・旭さん、母・千種さんへ

ばばはすごいちからもちだし、こちょこちょしてあそんでくれるからおもしろいよ！ままはいつもにこにこしているけど、おかたづけしないとめをおおきくしておこるんだ。おかたづけちゃんとするからおこらないでね。

おおきくなったらばばとままはパンやさん、りあはケーキやさんになっておみせやさんをいっしょにしたいな！

◆みたちえいとくん (三田地永翔・6歳)
から父・勇治さん、母・恵理さん

おとうさんはめがねをかけていてねぼすけなんだ。かたぐるまをしてくれるよ。たいこやるおとうさんがかっこいいよ！やってといたらぼくもやるよ。

おかあさんはごはんやせんたくをするからいそがしいよ。おこるとずーっとおこっているからじかんがかかるんだ。おとうさんすきだからなんでもいうときくね！



ガレージナカタ

「新工場が完成しました」



6月末に完成した新工場をバックに撮影



広々としている新しい事務所内

白井にある「ガレージナカタ」。社長の中田智也さんが平成14年に開業しました。中田さんは高校を卒業後、久慈の自動車整備工場に就職。近所の人から「車の調子が悪いが、久慈まで乗って来て見てきてください」とよく頼まれていたそうです。

そして働いているうちに自分の店を持ちたいと思うようになり、平成14年に村に開業。自動車の販売や整備、メンテナンス、リース、レンタカーなどをやっています。中田さんは「普代の人たちは走行距離が多く、自分の車に愛着を持っているイメージがあります。オイルの管理問題などで故障する車を多々見て来たので定期的なオイル交換を勧めています」と話していました。

また漁村特有の軽トラックのサビ問題について聞くと「エンジンより先に車体がいられる車が多いです。これにはサビ止めコーティングが効果的です」と話していました。6月末には待望の新しい工場兼事務所が完成。7月24日から26日まで、オープンを記念してイベントを開催予定です。ご利用ください」と告知していました。



ガレージナカタ

■ガレージナカタ
場 所：普代村 23-22-43
(☎35-3132)
営業時間：8:30～18:30

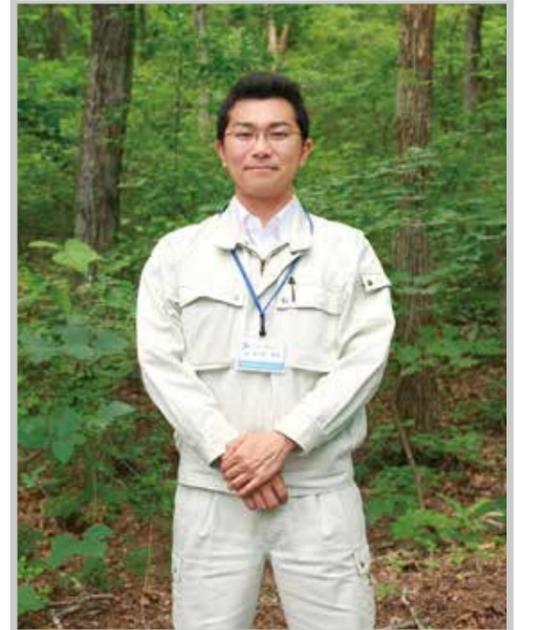
『クマに嫌われているのかなあ...』

4月から村農林商工課に勤める日ノ沢佑紀さん。久慈市出身で以前は久慈市で働いていました。

仕事では林業や有害鳥獣の対策に日々奮闘。日ノ沢さんは「山林の多い普代村で、その資源を管理、活用するのは村の経済活動の生命線の一つを守ることになると思うので、気を引き締めて頑張っています」と話していました。生活圏が自然に近いことから野生鳥獣とすまぐ付き合うことが大切と考えているそう



友達の友達は...みんな友達。そんな思いを込めて自分の友人知人をリレーで紹介するマイフレンドコーナー。今月は役場に勤める日ノ沢佑紀さん(26)です。



「大丈夫です。自分がいればクマは来ません」ということで大自然で撮影。

です。ちなみに日ノ沢さんが担当になってから幸か不幸かクマの出没情報が少なくなってきたといいます。本人は「クマに嫌われているのかなあ... (笑)」と苦笑いしていました。そんな日ノ沢さんの趣味はサイクリング。「自転車は自分のペースで行きたい所に行ける自由な乗り物です」と自転車のよさを話し、タイヤの太さや車体の材質が走りなどに影響するかなどと熱く話してくれました。広報係が「普代く久慈間は

走れますか」と質問すると、「距離的には問題ありませんがアップダウンがきついですからなあ...今度挑戦してみます」と意気込んでいました。
.....Q&A.....
―休みの日は。
朝方はサイクリング、昼はドライブに出かけます。
―時間とお金があったらしてみたいことは。
もっといろんなことを勉強して自分を広げる努力をしたいです。
―村へ一言。
外から来た人間として自分の感性を村の将来に生かして行きたいです。



◆小学生～一般向け

『まるごと日本の道具』
面矢 慎介

日本の道具がまるごとわかります。日常生活や学校、仕事などで使う道具を用途別に約1000種類紹介。使い方や特徴、歴史なども分かります。

学研

◆小学生向け

『イラストストーリー 妖怪ウォッチ』
福田 幸江

ある夏、ふつうの小学5年生ケータくんが手に入れたのは妖怪を見ることが出来る妖怪ウォッチ。あちらこちらにいる妖怪が見えるようになって...

小学館



◆幼児向け

『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』
くさば よしみ

2012年ブラジルのリオデジャネイロで開かれた国際会議で、南米ウルグアイのムヒカ大統領の絶賛されたスピーチの全容を紹介しています。

汐文社

本はともだち

図書館 行こう！

★開室時間：午前9時～午後5時
★休室日：毎週月曜日
★電話・ファックス：3611044

広報クイズ

次の2つの問題を読み、3つの答えの中から正しいものを選び、はがきで応募してください。①は3分、②は24分からの出題です。

① 2010年時点での普代村の人口は何人でしょう？

- A 2,088人
- B 3,088人
- C 4,088人

② 2015年6月末現在の普代村の人口は何人でしょう？

- A 2,870人
- B 3,870人
- C 4,870人

【応募方法】

はがきに答え、郵便番号、住所（地区名）、氏名、年齢、性別、世帯主の名前、電話番号を書いて応募してください。正解者の中から抽選で5人に図書カードをプレゼントします。

はがきに広報ふだいの感想、ご意見、イラストなど書いてください。紙上で紹介します。お待ちしております。

◎あて先…〒028-8392

普代村9-13-2

普代村役場 広報クイズ係

◎締め切り…8月10日(月) 当日消印有効

◎6月号の答え…①-B ②-C

◎応募総数…5通で5人が正解でした。次の5人に図書カードをお送りします。おめでとうございます。

◎当選者…①古山愛菜ちゃん(白井・5歳) ②古山心菜ちゃん(白井・5歳) ③滝澤啓光君(久慈市・4歳) ④太田りあちゃん(太田名部・6歳) ⑤滝澤光来ちゃん(久慈市・6歳)

みんなのイラスト展



古山心菜ちゃん
(白井・5歳)



古山愛菜ちゃん
(白井・5歳)



滝澤光来ちゃん
(久慈市・6歳)



太田りあちゃん
(太田名部・6歳)



滝澤啓光君
(久慈市・4歳)

NHK・BSプレミアム「きらり！えん旅」大助・花子さんのトークで笑いの渦に
震災被害を受けた東北を励まして三陸沿岸市町村を訪ねるNHK・BSプレミアムの番組「きらり！えん旅」の撮影が6月25日から27日まで普代村で行われました。



ステージに立つ宮川大助・花子さん。会場は笑いの渦に包まれていました

撮影最終日の27日には宮川大助・花子さんのミニライブの収録が自然休養村管理センターで行われ、2人のトークに約160人で埋めつくされた会場は笑いの渦に包まれました。

撮影した内容は7月15日に放送され、21日の午前6時30分〜と22日の午前11時5分〜再放送がされる予定です。ぜひご覧になって近所の人などが映っているか確認してみてください。

地域おこし協力隊通信No.3 鉄山染め体験をして



今月は谷増隊員です

こんにちは！地域おこし協力隊の谷増です。突然ですが、私はよその地域の人たちに普代村を知ってもらうことが、村の将来につながると思っています。ですので、私は普段から友人や知人、たくさんの方の知りに「普代村に観光に来てください」と声をかけています。

友人が2名、千葉原からはるばる普代村に来てくれました。どんな場所を案内しようか悩んだのですが、私も含めて3人で楽しめるような鉄山染め体験をすることにしました。私も体験したことは無かったので正直どうなるか心配でしたが、友人たちはとても満足していたし、私自身も楽しめました。作業の大まかな工程

は次のとおりです。煮ると脱水にそれぞれ20分ほどかかるため、その間、友だちと一緒に周囲の散歩に行くことが出来たのも良かったです。神社に連れて行ってあげたのですが、友人たちはとても喜んでいました。自分で染めたものを持ち帰ることができるため達成感もあります。



①布にゴムを巻き付けます ②布を染料で20分ほど煮ます



③巻き付けたゴムを外し、20分ほど脱水します ④脱水したらアイロンをかけて完成！自分好みのデザインで作ることが出来ます

上級事務を3人、中級保育士を1人 平成28年度採用役場職員を募集!!

平成28年度採用職員の採用試験を、次のとおり行います。

◆試験職種・採用予定人員…①上級事務・3人、中級保育士・1人

◆受付期間…平成27年7月17日(金)から8月20日(木)までの土日除き。受付時間は、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで。郵送で送付のものは、8月20日(木)までの消印があるもの。

◆受験手続…①申込用紙の請求・申込用紙は役場総務課で交付します。申込用紙を郵便で請求する場

合は、封筒の表に「採用試験請求」と朱書きし、120円切手を貼ったあて先明記の返信用封筒(A4判サイズ)を同封し、普代村役場総務課に請求してください。

②受験の申し込み・申込用紙に必要事項を記入して、役場総務課に提出してください。申し込みの際には、申込書の所定の個所に写真及び、受験票に52円切手を必ず貼ってください。郵便で申し込む場合は、封筒の表に「採用試験申込」と朱書きしてください。9月11日(金)を過ぎても受験票が返

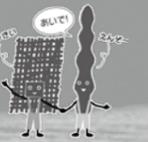
送されない場合は、役場総務課まで連絡してください。

◆試験の日時・場所…①1次試験・9月20日(日)午前10時開始(受付は、午前9時00分~30分)、久慈市役所ほか(久慈市川崎町1-1) ②2次試験・第1次試験合格者に、10月下旬に日時、場所を指定して行います。

◆合格発表…①1次試験・10月中旬 ②2次試験・11月中旬

◆給与(初任給)など…普代村給与条例などの定めるところにより支給されます。

受験資格など、詳細については役場総務課(☎35-2111、内線113)まで。



くらしの情報

義援金、支援金

(6月1日～6月30日分、敬称略)

▶イトウイサオ 5,000円 ▶九戸村 JMG 4万円

これまでの合計額 **64,691,019円**

※義援金、支援金は復興支援事業などに活用されています。

ふるさと応援寄付金

(6月1日～6月30日分、21人)

これまでの合計額 **12,664,282円**

戸籍の窓

6月分(敬称略・順不同)

お誕生おめでとう (0人)

ご結婚おめでとう (0組)

お悔やみ申し上げます (4人)

金子 テフ	力 持	96歳
太田 カツ	太田名部	75歳
森田 サヨ	緑 区	92歳
石花 ナミ	堀 内	85歳

交通安全 対策情報

■村内の交通事故《6月》

人身事故 1件(1件)
物損事故 2件(16件)

※()内は1月からの累計

■救急車の出動回数《6月》7回

■飲酒運転検挙状況(県交通安全対策協議会調べ)

県内33市町村中ワースト順位…**1位**
(平成27年5月31日現在)

村内の検挙者数《5月》1人(2件)

県内の検挙者数《5月》46人(159件)

※()内は1月からの累計

飲酒運転検挙者の状況

検挙日	年代	性別
5月19日	30代	男性

ご存じですか!

自動車事故者の救済制度

自動車事故で重度の後遺症が残った人や亡くなられた人(加害者・被害者を問わず)の家族を救済するため次の制度があります。

●交通遺児等育成資金貸付制度

▶貸付金額…一時金 155,000円 月々 20,000円

▶対象者…0歳から中学3年生まで

▶返還方法…割賦による20年以内の均等払い ※進学する場合は返還の猶予あり

●介護料支給制度

▶受給資格…自動車事故で重度の後遺症が残り、常時または随時の介護を必要とする人

▶支給額…月額29,290円～136,880円
お申し込みやお問い合わせは自動車事故対策機構岩手支所 ☎ 019-652-5101 まで。



総合相談シルバー 110番

岩手県高齢者総合支援センターでは、高齢者やご家族の皆さんから毎日の生活でのお困りごとやお悩みごとなどの相談に応じるため、月曜日～金曜日の午前9時から午後5時まで受け付けし、対応しています。相談は無料で秘密は守られます。

▶相談電話…フリーダイヤル ☎ 0120-84-8584

▶お問い合わせ…県福祉相談支援センター ☎ 019-625-7490

ひとり親家庭等の法律相談

一般社団法人岩手県母子寡婦福祉連合会では次のとおり弁護士による無料相談会を開催します。離婚や養育費などの問題でお困りの方はお気軽にご利用ください。

▶日時…平成27年7月22日(水) 10:00～15:00

▶場所…久慈地区合同庁舎2階相談室
お申し込みやお問い合わせは県北広域振興局保健福祉環境部 ☎ 0194-53-4982 または久慈市母子寡婦福祉協会 ☎ 0194-53-2839 まで。

戦後の証券類を返還します

税関では戦後、海外から引き揚げて来た人から預かった約87万件の未返還の保管証券類を返還しています。

返還の請求は本人だけでなく家族の人でも構いません。お気軽に最寄りの税関までお問い合わせください。

▶問い合わせ先…宮古税関支署 ☎ 0193-62-6559

裁判所事務官を募集します

最高裁判所では、平成27年度裁判所職員採用一般職試験(高卒者区分)を次のとおり行います。

▶試験職種及び採用人員…裁判所事務官(若干名)、平成27年4月1日時点で高等学校または学校教育法に基づく中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して2年を経過していない人、もしくは平成28年3月までに高等学校または中等教育学校を卒業する見込みのある人

▶1次試験日…平成27年9月13日(日)

▶申込受付期間…①インターネット:平成27年7月14日(火)～7月23日(木) ②郵送:平成27年7月14日(火)～7月17日(金)

試験に関するお問い合わせは盛岡地方裁判所事務局人事第一係 ☎ 019-622-3352 まで。

臨時福祉給付金を支給!

国では昨年に引き続き、臨時福祉給付金を支給します。村では対象と思われる世帯にお知らせしますので手続きはお早めに。支給対象者と支給額は次のとおりです。

▶支給対象者…平成27年度分の住民税が課税されていない人 ※生活保護の受給者、住民税課税者扶養控除の対象者となっている人は除きます。

▶支給額…1人 6,000円
受け付けは平日の9:00～17:00まで役場住民福祉課で行っています。給付金に関するお問い合わせなどは役場住民福祉課 ☎ 35-2113 まで。

広域連合の職員を募集!

久慈広域連合では、平成27年度採用職員の採用試験を次のとおり行います。

▶職種及び受験資格…①事務職(1人程度)、昭和60年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた人②消防職(3人程度)、平成元年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた人(ほか身体条件あり)

▶1次試験日・場所…平成27年9月20日(日) 久慈市役所、久慈高等学校長内校

▶申し込み受付期間…平成27年8月3日(月)から8月18日(火)までの午前8時30分～午後5時15分 ※土日を除く

受験案内の請求や申し込み、お問い合わせなどは久慈広域連合総務企画課 ☎ 0194-61-3344 まで。

高齢者歯科検診のご案内 (75歳になられた方)

平成26年4月1日～平成27年3月31日の間に75歳の誕生日を迎えた人を対象にお口の健康維持と改善を図るため歯科検診を無料で行います。

お口の健康は身体の健康と深い関係があると言われています。この機会にお口の健康を見直してみましよう。

▶健診期間…平成27年8月1日～12月25日

お問い合わせなどは村住民福祉課 ☎ 35-2113 まで。

定期無料相談

6件とも事前に予約が必要です

困っていたら相談を!

久慈地区法律相談

▶期日…8月6、20日(木) ▶時間…10:30～15:30 ▶場所…久慈市役所 ▶問い合わせ先…久慈市役所生活環境課 ☎ 0194-52-2111

多重債務者相談

▶期日…7月23日(木) ▶時間…9:00～15:00 ▶場所…久慈市・久慈広域消費生活センター ▶問い合わせ先…同センター ☎ 0194-54-8004

くらしとお金の安心相談会

▶日時…8月19日(水) 10:00～16:00 ▶場所…久慈市・久慈広域消費生活センター ▶問い合わせ先…同センター ☎ 0194-54-8004

久慈保健所での相談

エイズ・肝炎ウイルス・性器クラミジア検査、骨髄バンク登録

▶日時…8月18日(火) ①エイズ・肝炎・性器検査:15:00～18:00 ②骨髄バンク登録(要予約):15:00～18:00

精神保健福祉相談

▶日時…8月21日(金) 13:30～(要予約)

ひきこもり相談

▶日時…7月27日(月) 14:00～15:30
3件とも、問い合わせ先は久慈保健所保健課 ☎ 0194-53-4987

塗装

茂石総業 代表 茂石祐次 ☎ 35-2933

人気商品

大きさ、タテ、ヨコ
文字を選べるゴム印
です!

1行 1,350円(税別)

連結して自由に
組み合わせ
使用できます!

普代村 中央区 まつば時計店 ☎ 35-2276

愛車の車検 お気軽にご相談ください。

早い! 安い!! 代車無料!!!

東北運輸局長指定 民間指定工場 (有)ナガサワ自工 電話 0194-35-2216 FAX 0194-35-2158

8月のこんなこと、あんなこと

日	月	火	水	木	金	土
	27 (大安)		29 (先勝)	30 (友引)	31 (先負)	
2 (大安) 第12回北緯40度普代浜ビーチバレーボール大会(普代浜)		4 (先勝) ・1歳6カ月児・3歳児健診(受付12:00~12:30、㊟) ・ブックスタート		6 (先負) ・健康相談(茂市・芦渡)	7 (仏滅) ・健康相談(鳥居・堀内机)	8 (大安) 体育施設無料開放日
	11 (友引)		14 (先勝) 第61回村長旗争奪地区対抗野球大会(~15日、㊟)			
16 (先負)	18 (大安) 普代中学校2学期始業式	19 (赤口) 普代小学校2学期始業式、はまゆり子ども園2学期始業式 ・お誕生教室(受付12:00~12:15、㊟)	20 (先勝) 久慈地区中学校駅伝	22 (先負)		
23 (仏滅)	24 (大安) 久慈地区中学校陸上記録会	25 (赤口)	26 (先勝) ・離乳食教室(受付12:00~12:15、㊟)	28 (先負) ふだいまつり(~30日)	㊟は保健センター ㊠は北緯40度野球場 ㊡は社会体育館 ㊢は管理センター ㊣はふれあい交流センター ㊤は医科診療所 ㊦は海洋センター ㊧ははまゆり子ども園	
30 (大安) 特定健診・大腸がん・肺がん・前立腺がん・胃がん・骨粗鬆症検査・腹部エコー検査・肺機能検査(~9月1日、㊟)	31 (赤口) 村県民税第2期納期限・国民健康保険税第2期納期限					

8/1 (土) うねとり荘夏まつりに出店します!
おやき、ドーナツ、焼き鳥など販売します。
中央区 三船製菓 ☎35-2020

銀次選手普代後援会
現在ケガで1軍から離脱中...
早く良くなってね。
会員募集中 会員証プレゼント!
年会費 2,000円
会長: 嘉藤明男 事務局: 前川 090-2144-8610

畳工事一式、内装工事、ふすま・障子・屏風張替
沢口畳店
普代村13-12-8 TEL・FAX 35-2561

~宿泊・宴会・仕出し 承ります~
北三陸 ふだい 国民宿舎くろさき荘
〒028-8351 岩手県下閉伊郡普代村第2地割字下村84番地4
TEL 35-2611 FAX 35-2872

エンジンオイル交換
待ち時間 15分~
お気軽にご利用、お問い合わせください
(有)ガレージナカタ 普代村23-22-43 TEL 35-3132

うねとり荘夏まつり 開催!!
・と き: 平成27年8月1日(土) 午後4時~
・と ころ: うねとり荘駐車場(雨天時: 荘内)
屋台・アトラクション・懸賞付盆踊り!
皆さまお問い合わせのうえぜひご来場ください! うねとり荘 35-3577

待ちました。らぎの日!
今年も注文承ります!!
数量限定
●営業時間 昼: 11:30~13:30(要予約) 夜: 18:00~23:00
●定休日 昼: 日曜日・月曜日 夜: 日曜日
普代村中央区 電話 35-2313 携帯 090-5833-1637

DVDダビング
大切な思い出をDVDに永久保存!
ビデオテープをDVDに! ベータ・8ミリ・DVCのテープからもOK!
当店通常価格1枚120分まで1,500円(税込)
8ミリフィルムもダビングOKです!!
価格応談
(有)坂下電化センター TEL 35-2138

元気出して行こうよ!
レバコール
頑張りが効かないあなたに...
「血圧を引きにくくなる」
「胃腸のつやがよくなる」
「キレイで元気な血通になる」
「疲れにくくなる」
「肝機能強化される」
「気持ち軽くなる」
お子さんから高齢者までみんなに良い薬!
高橋薬局 中央区 電話 35-2045

あなたの思い出をよみがえらせます
お盆に向けて古く痛んだ写真、思い出の写真を再生いたします。キズ、汚れ、曲がり、破れ、ネガの無い写真等、お気軽にご相談下さい。
カトウ写真館 Tel (35)2594 Fax (35)2594

普代ポイントカード会からのお知らせ!!
毎月2,000円の商品券が当たるラッキーチャンス。6月当選者は以下5名です。
太田亜喜恵様(太田名部) 高井ケイ様(緑区) 川向さち子様(旭日区) 中居フク子様(旭日区) 松頭愛様(中央区)
普代ポイントカード会 普代商工会内 ☎35-2132

ためんびゃあカードはお得ですよ!
当会は108円に1ポイントサービスしていて、400Pためると500円のお買いものことができます。「顔の見えるサービス」を心掛け、地域が元気になるよう加盟店一同ガンバっています!
今年の夏も「ためんびゃあカード」をご愛顧下さい!

6月28日の普代村は大雨で大荒れ

三陸沖に停滞していた低気圧の影響で村では6月27日早朝から28日の夕方にかけて大雨となり、27日22時34分に大雨警報を発令しました。村の降り始めからの総雨量は370^{mm}。これは観測史上最大で、人的被害はなかったものの、村内各所で沢の増水や土砂の流出、落石などが発生しました。さらに土砂災害の恐れがあるとして、28日3時35分に土砂災害警戒情報も発令。同時に土砂災害危険箇所のある10地区884世帯2159人に対し避難勧告を出しました。幸いにも大きな土砂災害は発生しませんでした。土砂災害危険区域の再確認や自らの判断で迅速に命を守る避難行動について考えましょう。



白井の国道には土砂が流出

避難勧告発令などに伴う 住民の取るべき避難行動

村では台風や集中豪雨などの大雨で災害の発生する恐れが高まった場合、対象地区に避難勧告などを発令します。発令時の住民の皆さんの取るべき行動、避難場所について今一度ご確認を。

種別及び内容	住民の取るべき行動
<p>○避難準備情報</p> <p>住民に避難準備を呼び掛け、避難行動要支援者などに早めの段階で避難行動の開始を求めるものです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気象情報に十分注意し避難が必要か考え、必要と判断した場合は、すぐ避難できるように準備をする ・避難に時間を要する人は、避難所への避難行動を開始する
<p>○避難勧告</p> <p>居住者に立ち退きを勧め、避難を促すために発令します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ早く、災害の恐れのない安全な場所に避難を行う ・避難が困難な場合は、屋内上階の谷側に退避（垂直退避）する
<p>○避難指示</p> <p>被害の危険が迫った時に発令します。「避難勧告」で拘束力が強くなりますが、指示に従わなかった人に対して、直接強制までは行いません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ避難してない対象住民は直ちに避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は、生命を守る最低限の行動をとること

土砂災害の指定緊急 避難場所の確認を！

対象地区	施設名
黒崎	黒崎公民館、くろさき荘
太田名部	自然休養村管理センター、普代村役場
元村、力持、鳥居、落合	自然休養村管理センター、普代村役場、高齢者活動施設
白井、堀内、沢向	B & G海洋センター、白井地区漁業研修施設
芦渡、茂市、萩牛	芦渡多目的集会施設、茂市公民館

人口と世帯 6月末現在

	前月比	前年比
人口	2,870人 (±0)	(-62)
(男)	1,396人 (+1)	(-29)
(女)	1,474人 (-1)	(-33)
世帯	1,144戸 (+1)	(+7)

▼6月28日に観測史上最大の雨量を記録した普代村。テレビなどでもたくさん報じられ、遠方にいる知り合いから「大丈夫か」と連絡をいただきました。幸い大きな災害はなかったですが、普段から避難に対する姿勢作りは大切だと感じました▼地方創生。難しい問題ですが、三田地さんが言ったように難しくならないことが大事だと思います。普段の生活にプラスで地方創生を考えてみましょう▼まちづくりには「わか者・よそ者・ばか者」が必要だとよく言います。自分はその内2つに当てはまると思います。ちなみに自分は22歳で、生まれてからずっと普代村に住んでいます。

(下道峻聖)

ホッと一息